

〔国際会議開催〕

申請者	電気通信大学 教授 梶本 裕之	2185003
国際会議名称	IEEE World Haptics Conference 2019	
開催期間	2019 年 7 月 9 日～7 月 12 日	
開催場所	ソラシティカンファレンスセンター (東京都千代田区)	
申請者の役割	General Chair	

概 要：

本学会の開催目的は「人間の触覚」に関連する多領域における最新の研究成果を、国際的な研究者間で共有するとともに、一般社会に還元することである。本学会で扱う領域は多岐にわたり、人間の触覚に関する心理学的、脳神経科学的な知見、触覚センシングや触覚提示などのロボット、コンピュータインタフェース関連技術、素材の触感の評価手法、技能伝達、バーチャルリアリティ、遠隔手術、障害者福祉などがその一部である。

本国際会議は 2 年に一度開催され、過去数回は 400 人程度の参加者であった。しかし今回、予想を大幅に上回り総計で 800 人を超える参加者を得た（通常レジストレーション 531 人、学生ボランティア 30 人、スポンサー枠参加 155 人等）。事前に予約した会場は最大で 600 人の収容能力であったため、本学会の歴史上初めて、オンラインレジストレーションの締め切り後は現地でのレジストレーションを基本的に断る（発表者や特に事情のある方は除く）対策をとった。

採択されたペーパーは、従来の 15 分の口頭発表ではなく、3 分の口頭発表とその後のポスタ発表とする形式をとった。従来どおりだと会場を細分化せざるを得ず、全員が触覚研究の現状を共有することが難しかったためである。またポスタ発表では本学会の歴史上初めて LCD モニタを各発表に配置して、口頭発表に近い形で発表できるようにした。こうした手法は学会後のアンケートでも大変好評であった。今回、企業展示の件数も従来の倍程度の 33 件となり、本研究分野が国内外の企業からも大いに注目されていることを裏付けた。

以上により、触覚研究の最新の成果を国内と国外、アカデミアと企業で共有するという目的は十分に達せられたと考えられる。